

電力レジリエンス等に関する小委員会 用語集

【新規追加】

No.	用語	小委員会における整理（案）	備考
1	レジリエンス (Resilience)	強靱性、回復力 電力インフラ・システムについては、ネットワーク全体が対象※。	※電力レジリエンスワーキンググループ 中間取りまとめ
2	ブラックアウト (大規模停電)	一エリア全域に及ぶ大規模停電 (参考) 2003年8月14日に発生した北米大停電の最終報告書での表記 The August 14, 2003 Blackout in the United States and Canada	平成30年北海道胆振東部地震に伴う大規模停電に関する検証委員会 中間報告

【参考】需給調整市場検討小委員会における用語

No.	用語	小委員会における整理	備考
1	ΔkW	実需給時点で各時間帯毎に必要な能力をもった電源等を、出力を調整できる状態であらかじめ確保すること	第2回需給調整市場検討小委員会（資料2）
2	調整力の調達	一般送配電事業者が需給調整市場から、GCまでに、細分化された調整機能ごとにΔkW 価格のメリットオーダーに基づき調整力を調達すること	第18回制度検討作業部会 (中部電力説明資料) (一部修文)
3	調整力の運用	一般送配電事業者が調達した調整力と、GC後の余力として活用できる調整電源等の調整力をメリットオーダーに基づき発動し、需給調整すること	第18回制度検討作業部会 (中部電力説明資料) (一部修文)
4	商品区分 一次調整力 二次調整力① 二次調整力② 三次調整力① 三次調整力②		第6回需給調整市場検討小委員会（資料2）
5	応動時間	中央給電指令所からの指令を受信してから供出可能量まで出力を変化するのに要する時間	
6	継続時間	最大値または指令値を継続して出力し続けることが可能な時間	第14回制度検討作業部会 (資料3)

※1 簡易指令システムと中給システムの接続可否について、サイバーセキュリティの観点から国で検討中のため、これを踏まえて改めて検討。
 ※2 事後に数値データを提供する必要有り（データの取得方法、提供方法等については今後検討）。
 ※3 沖縄エリアはエリア固有事情を踏まえて個別に設定。
 ※4 中給システムと簡易指令システムの接続が可能となった場合においても、監視の通信プロトコルや監視間隔等については、別途検討が必要。
 ※5 簡易指令システムには上り情報を送受信する機能は実装されていない。現時点ではDRの参入がその大半を占めることが想定され、エリア需要値の算定に影響は生じないが、今後、VPP等の発電系が接続することでエリア需要の算定精度が低下することが考えられるため、上り情報が不要な接続容量の上限を設ける等の対応策を検討。

7	広域メリットオーダー	各一般送配電事業者が調達した調整電源等（GC 後における発電余力を含む）が発動した場合のコストが最も安価となるように、kWh 単価に基づき安価なものから並べたときの順番。または、その順番に基づき調整力を発動すること。（インバランスの発生エリアとは関係なく、kWh 単価に基づき決定）	第 1 回需給調整市場検討小委員会（資料）（一部修文）
8	広域メリットオーダーリスト	広域メリットオーダーに基づき調整電源等ごとに調整可能量と kWh 単価をリスト化したもの	第 2 回需給調整市場検討小委員会（資料 5）
9	インバランスネッティング	エリア間でインバランス想定量の発生方向が逆の場合に、それらの量を相殺することで、調整力の発動量を減少させること	第 1 回需給調整市場検討小委員会（資料 5）
10	需給調整市場システム	「調達」の共通プラットフォーム需給調整市場から調整力の ΔkW を調達するためのシステム	
11	広域需給調整システム	「運用」の共通プラットフォーム広域需給調整機能と低速枠発動支援機能をもった広域的に需給調整するためのシステム	
12	広域需給調整機能	インバランスネッティングと広域メリットオーダーを行う機能（広域需給調整システムに含まれる）	第 2 回需給調整市場検討小委員会（資料 5）
13	低速枠発動支援機能	需給調整市場でエリア外から調達した三次調整力②について、「調達先エリア」と「発動量」等の情報を中給システム間で送受信する連絡機能を担うとともに、連系線潮流計画値を変更するため広域機関システムと連携する機能。（広域需給調整システムに含まれる）	第 2 回需給調整市場検討小委員会（資料 5）
14	簡易指令システム	中央給電指令所の需給制御システムと専用線オンラインで接続していない発電設備やアグリゲーターに対して需給バランス調整等の指令を行うシステム。現状、一般送配電事業者は電源 I'等の調整力として保有する電源に対して、電話やメールで個別に指令を行っているが、本システムにより、一括で調整指令ができ、指令授受の精度向上や時間短縮が可能となる。	東京電力 P G プレスリリース（2017 年 10 月 2 日）調整力の調達における「簡易指令システム」の仕様について
15	調整係数（ α ）	調整力の調達にあたり、入札価格に対して、調整力として求められる要件に係る評価を反映するために乗じる係数。調達時の入札電源等の価値として総合的に評価するための一案。応札電源の評価 = 入札価格 \times 調整係数 α	第 14 回制度検討作業部会（資料 3）
16	上げ調整力単価（V1）	一般送配電事業者が契約設備等に対して、出力増指令したことにより増加した電力量に乗じて支払う 1kWh あたりの単価（単位：円/kWh）	調整力募集要項
17	下げ調整力単価（V2）	一般送配電事業者が契約設備等に対して、出力減指令したことにより減少した電力量に乗じて受け取る 1kWh あたりの単価（単位：円/kWh）	調整力募集要項
18	商品ブロック	1 コマ 30 分を最小単位として、商品を複数コマまとめて取扱う場合における時間数、またはその集まり	
19	調整量（ a ）	インバランスネッティングおよび広域メリットオーダーの結果から得られた連系線の制御目標値と連系線計画潮流の差分	第 3 回需給調整市場検討小委員会（資料 5）
20	アグリゲーター	需要家エネルギーリソース（DSR）や分散型エネルギーリソース（DER）を統合制御し DR、VPP の機能を提供する事業者。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
21	VPP(Virtual Power Plant)	バーチャルパワープラント。分散型エネルギーリソース（DER）の保有者もしくは第三者が、分散型エネルギーリソース（DER）を制御（DSR からの逆潮も含む）することで発電所と同等の機能を提供すること。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
22	DR(Demand Response)	デマンドレスポンス。需要家エネルギーリソース（DSR）の保有者もしくは第三者が、需要家エネルギーリソース（DSR）を制御することで、電力需要パターンを変化させること。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
23	DER(Distributed Energy Resources)	分散型エネルギーリソース。需要家エネルギーリソースに加えて、系統に直接接続される発電設備、蓄電設備を総称するもの。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン
24	DSR(Demand Side Resources)	需要家エネルギーリソース。需要家の受電点以下（behind the meter）に接続されているエネルギーリソース（発電設備、蓄電設備、需要設備）を総称するもの。	エネルギー・リソース・アグリゲーション・ビジネスに関するガイドライン